

(件名)

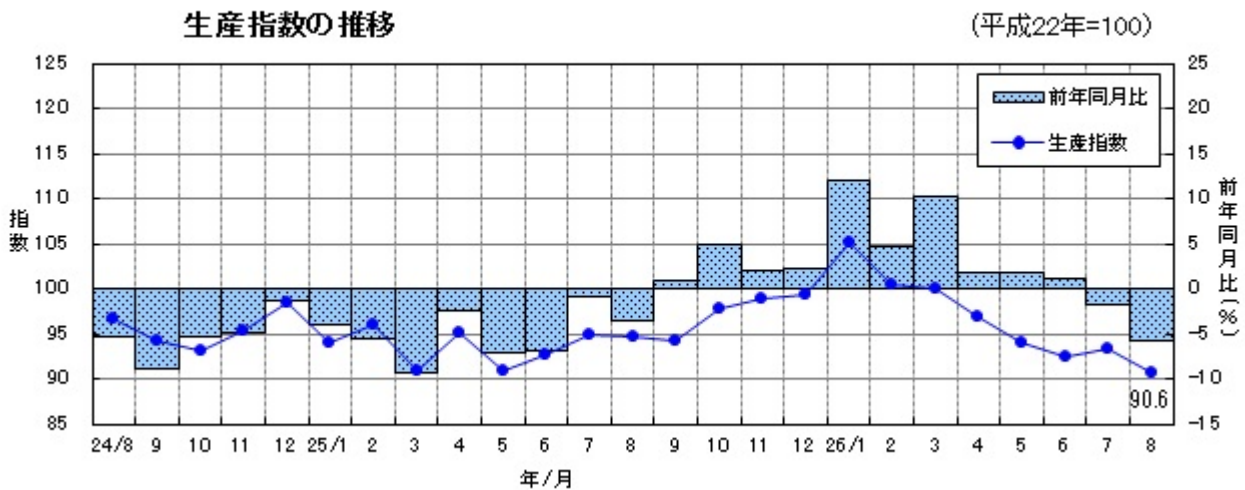
生産、出荷ともに弱含みで推移 (静岡県鉱工業指数 平成26年8月分速報)

1 生産指数の動き

8月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成22年=100)は**90.6**となり、前月比は**2.9%減**と**2か月ぶりに低下**した。

また、前年同月比(原指数)は**5.8%減**と**2か月連続して前年を下回**った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、食料品・たばこ、化学、電子部品・デバイス等が上昇する一方、輸送機械、はん用・生産用・業務用機械、パルプ・紙・紙加工品等が低下した。

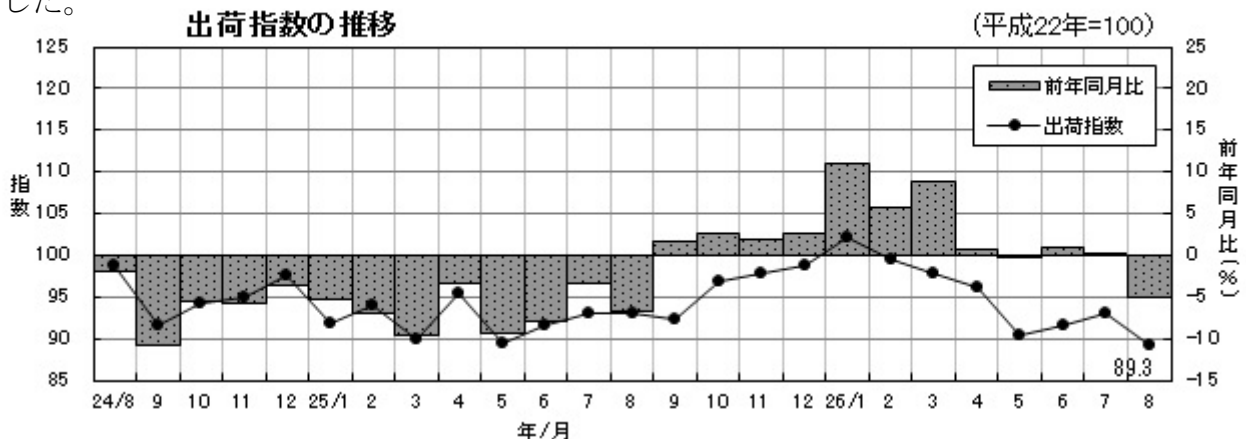


2 出荷指数の動き

8月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成22年=100)は**89.3**となり、前月比は**4.0%減**と**3か月ぶりに低下**した。

また、前年同月比(原指数)は**5.2%減**と**3か月ぶりに前年を下回**った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、食料品・たばこ、窯業・土石製品、電子部品・デバイス等が上昇する一方、輸送機械、はん用・生産用・業務用機械、プラスチック製品等が低下した。

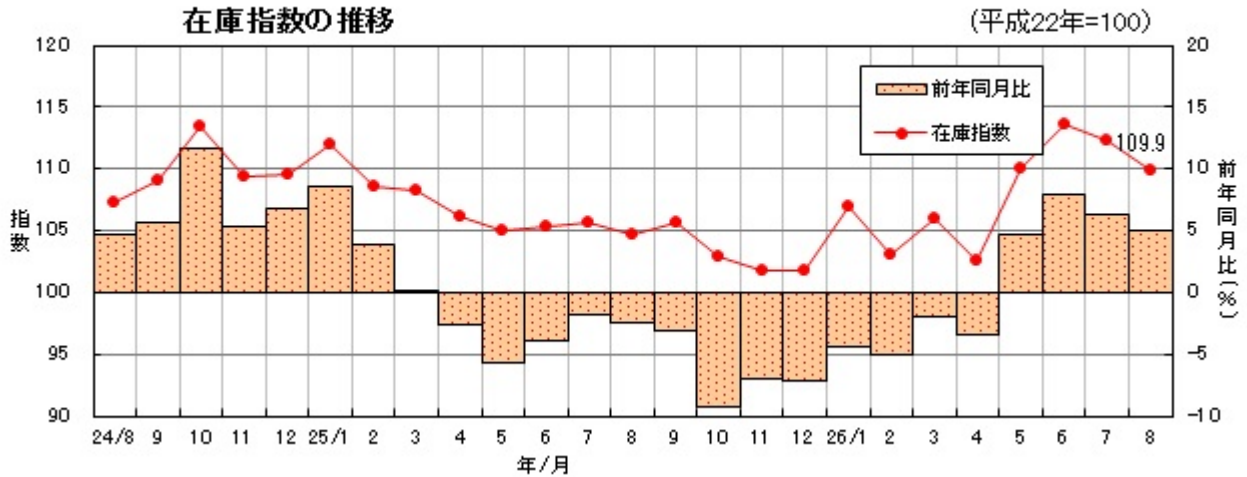


3 在庫指数の動き

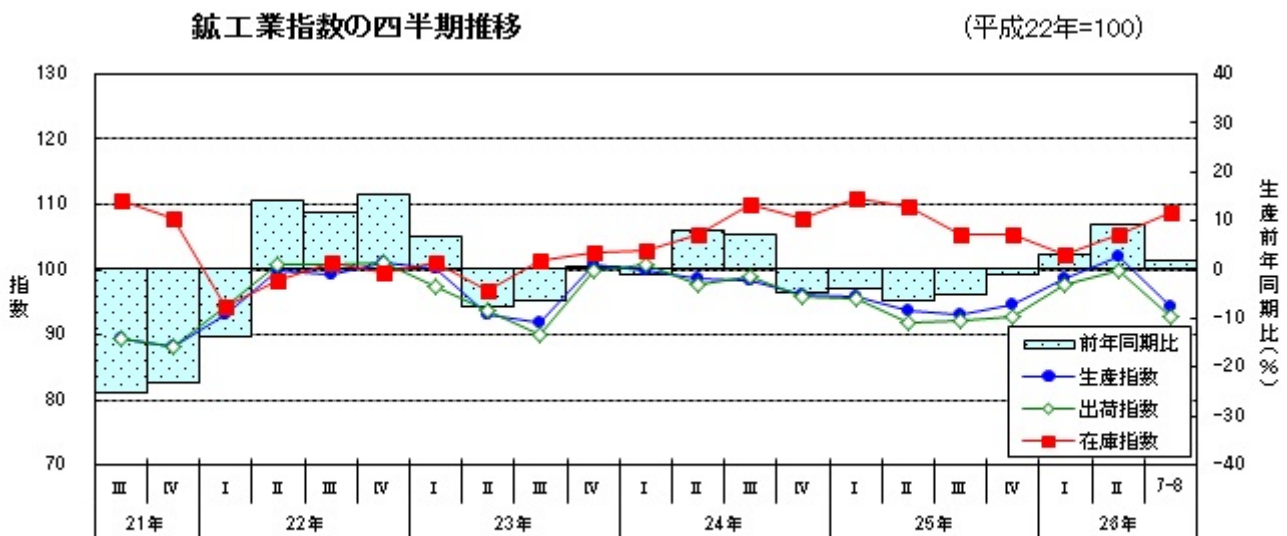
8月の鉱工業在庫指数（季節調整済：平成22年=100）は**109.9**となり、**前月比は2.1%減**と2か月連続して低下した。

また、**前年同月比（原指数）は4.9%増**と4か月連続して前年を上回った。

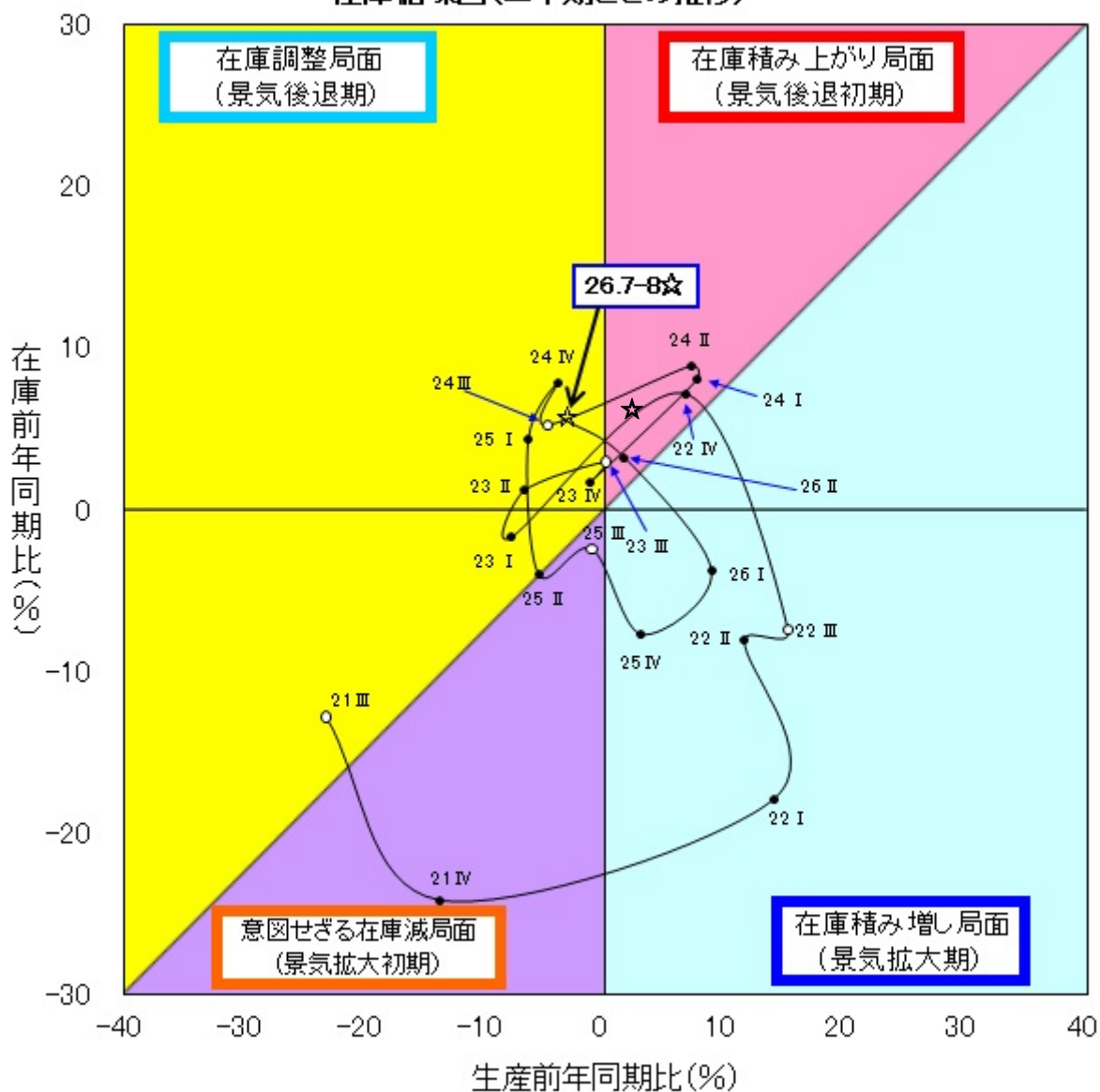
業種別の前月比（季節調整済指数）では、輸送機械、食料品・たばこ、プラスチック製品等が上昇する一方、化学、パルプ・紙・紙加工品、家具等が低下した。



<参考1> 四半期推移及び在庫循環図



在庫循環図(四半期ごとの推移)



- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**
 需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
 供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ☆ **在庫調整局面 (景気後退期) ← 今季はここに該当**
 適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**
 需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。